（様式３）

政務活動（参加・実施）報告書

令和３年　２月　４日

会　　派　改革フォーラム

参 加 者　牧田俊之

政務活動先（目的地）	Web 講義　Zoom ミーティング				
開催団体等	TRC 自治体政策研究会　〔講師：宮脇　淳　北海道大学教授〕				
政務活動期間	2021 年 1 月 27 日～1 月 28 日				2　日間
政務活動項目（名称等）	Web 講義テーマ「2021 年政府予算と地方行財政運営の課題」(1/27) 「DX と自治体システム」(1/28)				
政務活動参加者	松井雅宏	牧田俊之			計　2 名
全体参加者数	40 名				
政務活動の目的・結果等の概要・所見	今回のWeb講義を通じて2021年度予算審議のポイントとしたい。2021 年度政府予算では、コロナ対策やデジタル化など地方自治体運営に大きな影響を与える政策が組み込まれています。地方財政の前提となる政府予算を検証し地方財政の課題と対応について学ぶ。 ・1 日目「2021 年度政府予算と地方行財政運営の課題」 コロナの影響については消費税の減収の影響が大きいと予想。 一般財源総額ルールによる水準の確保〈2021 年度まで〉 コロナ対応需要額と不足額を把握し対応が必要。 減収補てん債の拡充の必要性〔地方消費税が含まれない〕 ・2 日目「DX と自治体システム」 DX：人々の生活をより良い方向に変化させる。 公的団体と民間企業では DX の方向性が違う。 中央と地方のシステムの一元化⇒中央集権的な構図が濃くなる 教育のデジタル化：考える力を低下させる側面がある 非典型的な業務もまだまだある実態を認識する事。 様々2021 年度予算に関連する重要な視点を学ぶことが出来た。 今後の活動に反映し活かしていきたい。				
	資料名（会派保管）				

会派内回覧	松井	越川	宮脇	牧田				